


## 戸田家住宅主屋



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	とだけじゅうたくおもや
所在地	新見市上熊谷
登録年月日	令和4年10月31日
解説	中世山城塩山城の麓に位置し、長大な石垣を構えた旧家 戸田家の主屋。戸田家は寛永年間から庄屋を務め、元禄に名字帯刀が許された旧家。構造はつし二階建て、入母屋造平入、棧瓦葺。二階は、なまこ壁で虫籠(むしこ)窓を開ける。式台を備え、太い梁組等、庄屋らしさを留めた豪壮な伝統的民家の形式。建築年代は、鬼瓦に残された銘から、天明6(1786)年と考えられる。大正5年頃に式台や床の間等の改修を経ている。
アクセス方法	JR姫新線 岩山駅から徒歩3分 車 大佐スマートインターから35分
公開状況	外観のみ ※内部見学・利用は要相談
設備	駐車場 
備考	内部見学やイベント等の利用の相談は、新見市教育委員会生涯学習課(0867-72-6148)にご相談ください。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	戸田家住宅主屋
よみかた	とだけじゅうたくおもや
しょざいち (所在地)	新見市上熊谷
とうろくしたひ (登録した日)	令和4年10月31日
せつめい	<p>戸田家は江戸時代に庄屋(しょうや)を務めた家柄(いえがら)です。当時の屋根瓦(やねがわら)に天明6(1786)年と記されており、江戸時代終わり頃に建てられたと考えられます。屋根や窓の形、壁の作りに江戸時代の建物の特徴が良く残されています。また、柱などに太い材木を使い、式台(しきだい・客の送迎に使われた特別な玄関)を備えるなど、庄屋らしい立派な建物です。</p>